

# 令和5年度第1回唐津市男女共同参画推進協議会 会議概要

## 1 開催日時

令和5年8月17日（木） 13:30～15:15

## 2 開催場所

唐津市役所 大手口別館5階 会議室

## 3 出席者

井上委員、井本委員、岩本委員、上野委員、大園委員、小出委員  
小峰委員、杉山委員、田坂委員、田代委員、田中委員、前田委員、  
松下委員、吉村委員 [14名]

## 4 欠席者

古川委員 [1名]

## 5 アドバイザー

佐賀県男女参画・女性の活躍推進課 古川  
株式会社ぎょうせい九州支社 野村、藤原

## 6 事務局

男女共同参画課 仁部課長、島松係長

## 7 傍聴者

1人

## 8 会議次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議事

①唐津市男女共同参画基本計画（第4次）令和4年度実施状況について

② 令和4年度審議会等委員に占める女性の割合について

③ 女性活躍推進事業について

④ 唐津市男女共同参画基本計画（第5次）の策定について

(4) 閉会

## 【会議概要】

### 1 意見等の概要

事務局	唐津市男女共同参画基本計画（第4次）令和4年度実施状況について（会議資料に沿って説明） 令和4年度の唐津市における審議会等への女性委員登用率実績について（会議資料に沿って説明） 女性活躍推進事業（会議資料に沿って説明） 唐津市男女共同参画基本計画（第5次）の策定について（会議資料に沿って説明）
会長	本日の議題は、①唐津市男女共同参画基本計画（第4次）に定めている。目標の令和4年度実績、②唐津市における審議会等への女性委員登用率令和4年度実績の報告。③令和5年度に取り組む女性活躍推進事業の紹介。④唐津市男女共同参画基本計画（第5次）の策定についてである。 ① ②について説明を求める。
事務局	（会議資料に沿って説明）
会長	① ②の説明内容について、質問及び意見を求める。
委員	【資料1-1「消防団員に占める女性の割合」について】 令和2年度から令和4年度まで1.1%と変わらないが、同じ方がずっと消防団員になられているという理解でいいのか。
事務局	消防団担当者に確認できていないが、ほとんど変わっていない状態と思われる。消防団担当では、女性消防団員の増加について啓発活動を行っているが、増加しているとは聞いていない状態。
会長	「自主防災組織、住民向け説明会実施」の状況を見ると目標値を超えるほどに努力されているが、女性の割合が増えないことは、女性の割合だけではなく、消防団員の割合が増えているかどうかと関連しながら見ないとわからない。
事務局	呼子地区など女性の消防活動に積極的な地区はあるが、地区毎により特色があり、積極的に取り組んでいただいている地区もあれば、ご理解ご協力、入団に至らないのが現状と思われる。
会長	固定化されている可能性があるのとらえる。
委員	消防団に占める女性の割合や、審議会委員の割合は、増やそうとする働きかけや広報が大事だと思われる。 女性人材バンクについては目標値をほぼ達成されているが、どのような依頼や活動をされているのか。
事務局	女性の人材バンク制度は、唐津市が各種審議会等の委員への就任を依頼したいと考えた時に、担当課の方では専門分野や専門知識等をお持ちの女性の存在が不明のため情報提供をするためのもので、毎年全庁に周知をしているところ。
会長	ほかにご意見はないか。
委員	【No.17「地域で活動する団体と連携を強化して、公民館などで男女共同参画に関する講座を開催する」について】 課題として、各種団体の会員の減少及び会員の高齢化とある

	が、唐津の各種団体は、現在減少傾向なのか。
事務局	<p>各種団体の減少傾向は確かに見受けられる。コロナ禍で縮小されていた男女共同参画についての勉強会などをコロナ前のように開催していただけるよう、令和5年度は公民館長会議で唐津市の事業である男女共同参画課の出前講座について啓発させていただき、実際に1地区で公民館利用者に男女共同参画の啓発が行えたところではあります。</p> <p>今後も各課により啓発ができるよう協力を依頼しているところ。</p>
会長	<p>いろいろな工夫ができる中で、工夫できなかったということは、やる気があるのかという話。また、できなかったことを地域の団体に責任転嫁することは行政の姿勢としていかがなものかと思う。</p> <p>他に意見はないか。</p>
委員	<p>【No.49 農林漁業従事者の労働時間の適正化や定期的な休日取得など、職場環境の整備を指導する】</p> <p>農政課 水産課所管の自己評価1、2というのが、この物差しが適当ではなかったのではと感じた。次の計画策定の時に適正な物差し（取組内容）の調整が必要。</p>
事務局	<p>昨年の推進協議会においても、そもそもの取組内容自体がおかしいとの指摘を受けている。</p> <p>農政課には、何か取組を行うよう投げかけをしているが回答いただけていない状況。</p> <p>水産課については、女性が参加しやすいような6次産業化等複合化を推進したいという意気込みがあったところ。</p> <p>第5次計画の目標等を考えるときには検討したい。</p>
委員	<p>農政課の分野になるが、県の事業で佐賀農業女子サミットという形で楽しく女性農業者が集まる取り組みをされているので、市開催のものだけでなく周知・啓発してはと思う。</p>
会長	他に意見はないか。
委員	<p>危機管理防災課に接する機会が多いが、男性職員ばかりが来る。危機管理防災課には女性職員はいないのか。</p>
事務局	<p>危機管理防災課は、以前は男性職員ばかりだったが、数年前から女性職員の正規職員1名が配属されている。</p>
委員	<p>避難所設置勉強会の講師は女性職員にも講師として来ていただきたい。</p>
事務局	<p>危機管理防災課は、非常に積極的に男女共同参画についても取り組んでくれているが、その中心は男性職員があたっているところ。委員からの意見を危機管理防災課の方に伝える。</p>
会長	他にご意見はないか。
委員	<p>農業委員等を決める際、当て職の方を選ばれるのではなく、違う立場から女性を登用するなどやり方を変えていただく必要がある。女性委員の登用を増やすというよう意識を高めないといけない。</p>
会長	委員の女性の割合を高めるときに、適任者がいないということ

	で、0というような数が上がってくる。人事課の職員研修自体の割合は高くなっているが、新任職員を対象とした研修だけではなく、担当職員・係長級・課長級などに研修をかけていかない限り目標値達成は見込めない。
委員	【No.12「女性リーダー育成に向けた意識づけを行う」No.19「性別にかかわらず、意欲や能力、業務実績による適正な配置に努める」】 教職と市役所の女性の管理職の割合についての評価が4と3で異なるが、数の違い、割合で4と3になっているのか。
事務局	担当課が評価をしているため、それぞれの担当課の評価となる。
委員	学校現場では教頭からが管理職だが、時間外が月平均70時間である。教頭の業務は校長が管理することになるので校長の責任は大きい。なぜ女性管理職が増えないのかをどのように把握しているのか、市役所も同じだと思うが、現場をどのように把握して自己評価をされているのか。
事務局	市役所では管理職試験などはなく、日頃の業務内容等を評価され人事異動がされているところです。
会長	唐津市職員はいきなり係長になったり課長になったりするの か。
事務局	はい。そうだ。
会長	学校は所属長がその適正を把握しておかないといけませんが、市役所では人事課はどのように把握するのか、管理職の割合を増やそうとすると人事課が頑張れば増やせることになる。
事務局	人事評価はある。人事評価を見て適正について判断している。
会長	学校の管理職は月70時間以上の残業が生じるため、女性の登用率はモチベーションが当然落ちるという話で、その実態を管理職ないし人事課が把握しているかとの2つの問題点だったと思うがどうか。
委員	学校長で改善をと言われたらできることは限られるため、学校長と市教育委員会ができることがあり、改善されれば女性の管理職が増えるのではないかと考える。
会長	管理職が把握できても、その改善に向けた取り組みを管理職だけではできない。市役所でいうと人事課が全体を把握し評価していかないと改善は難しい。市役所では女性が働き甲斐を持って働けるような労働条件をどう作るかを人事課が絶えず念頭におく必要がある。他にご意見はないか。
委員	市役所の職員の方の育児休業取得率が着実に上がっている。市役所も妊娠出産の申出をした労働者に対し個別の周知を確実にやっているということが増えてきているのか。 一方で育児休業を取った夫に手がかかるから取ってほしくないという声がある。そのため、「男性の家事、育児・介護参画を推進する講座」が大事と感じた。
会長	育休が取りやすくなったというのはかなり進んだと思うが、委員の話のように夫に手がかかるというのは起こりうる問題。父親

	<p>の学習機会の提供や普及、啓発が必要不可欠になる。 では、議題3「女性活躍推進事業について」説明を求める。</p>
事務局	<p><b>令和5年度女性活躍推進事業について</b>（会議資料に沿って説明）</p>
事務局	<p>（会議資料に沿って説明）</p>
会長	<p>ご質問はいかが。 国の事業であるが、総額600万円ほどの女性活躍推進交付金を取っている。よくやっていると思う。県から何か意見はないか。</p>
佐賀県	<p>地域女性活躍推進交付金のメニューの中で、唐津市は女性の活躍推進型と相談事業に対する相談員事業の両方を活用され、積極的に活用していただいている。 県としては、女性の活躍推進型のメニューでは例えば農業分野だけとか建設業だけなど分野を特定した、特定分野における女性活躍にも使える事業なので、分野別でも活用していただきたい。 また、相談事業についても、NPOとの連携を図ることで補助率が増加するというところもあるので有利な使い道というの検討してもらいたい。</p>
会長	<p>今の話は来年度に向けてということでした。 県内では、このように事業を行っている自治体があるか。</p>
佐賀県	<p>市でいうと4市申込みいただいております、その中で鹿島市が女性活躍推進と相談事業で申し込みされている。佐賀市は活躍推進。伊万里市は相談事業。 2つのメニューに該当するのは、唐津市と鹿島市。</p>
会長	<p>特にキャリアアップセミナーなど、進捗状況の協力企業が47社という成果が出てきているという風に評価できる取り組みだと思う。 次に、議題4「唐津市男女共同参画基本計画(第5次)の策定について」説明を求める。</p>
事務局	<p><b>唐津市男女共同参画基本計画(第5次)の策定について</b>（会議資料に沿って説明）</p>
事務局	<p>（会議資料に沿って説明）</p>
事務局	<p>業者が決まり、これからアンケート内容など調整を行う予定で、今年度このスケジュールで進めていこうと考えている。 アンケートがまとまれば、速報値を推進協議会の場で報告したい。</p>
会長	<p>第5次になるので、もう20年近くこの計画を作ってきて、県内の他自治体も男女共同参画の基本計画については、男女共同参画とDVと女性活躍推進の3領域で構成しているところが多いかと思う。どこも「これから取り組んでいくぞ、我が市(町)を良くしていくぞ」というような活気をもたらすような取り組みがなかなか、見えにくくなってきている。 そこで、唐津市において、何か新しい取り組みであるとか、新</p>

	しい世代に向けた何かを作っていく必要があると思います。県は何か新しい動きが県内であっているという情報を持たないか。
佐賀県	計画策定については、あまり把握していないが、県ではDVの話で、男女共同参画の計画の中に困難女性支援に関する方針を含めて一体化するかどうかについて、一体化してもいいし、一体化しなくて別々に定めてもいいとなっている。そこを自治体で判断する作業がでてくる。もし一体化する場合は、その両方の整合性を考えなければならないので調整は大変だが、唐津市では一体化するかについても検討していくことになるかと思う。
会長	アンケートを4種類というのは佐賀県内のオーソドックスなやり方になってきているが、策定の仕方についてはコンサルに報告してもらい、それについて意見交換をするといってもなかなか難しい。目玉の施策などを委員の中で議論するというのも専門分化してきたような施策も多くあるので非常に難しくなっている。 アバンセの方で何か新しい提案はないか。
委員	現在武雄市も改定作業にされており、審議会の中で基本計画の策定を進めていて、アバンセも手伝いをしている。武雄市の特徴としては、ワーキンググループを4つほど作り、進められています。基本計画の作り方も様々である。
会長	武雄市は前回の計画策定の時から少し工夫され、この審議会自体が毎回ワークショップみたいなもので、グループそれぞれの立場に分かれて新しいアイデアを話し合いながら提案するやり方に変えてきたということか。唐津市も県やアバンセの協力があると良い。
事務局	男女共同参画課の構成員は2人であり、計画策定だけでなく講演会の企画なども行っている。県やアバンセの協力やアドバイスをいただけるとありがたい。
会長	計画策定の時に議論しながら進めることは大事。アンケートの膨大なデータを30分くらいで説明されて、よくわからないまま計画が策定されることが起きがちになる。4期にわたり施策を展開してきているので、新しい施策というのは簡単に思いつかない。とは言え、家族の形態や、農・漁業者の生活形態も変化している。 アンケート項目についても、そのまま引き続き行うことは、経年変化を見るにはいいかもしれないが、新しい感性や新しい意見を取り込みながらでないとな次の施策、次の唐津市を作っていくことはできない。計画策定までは取り組み方自体、策定のプロセス自体を県やアバンセのご協力を得ながら少しリニューアルすることができればと思う。
委員	新しい計画の策定に向けて、女性の意識を変えていく必要はあるが、男性の意識や行動も変えていく必要があると考える。次期計画では、女性のスキルアップだけではなく、家事・育児など男性のスキルアップ事業を行い、家事・育児は女性だけの仕事ではないという考えが普通になっていく建て付けになってよい時期か

	<p>と思う。男性も男女共同に参画していると思えるようなデータとか資料があるといいと思う。</p>
会長	<p>新しい取り組みというのは、中学生のアンケートを取るのであれば、中学生に考えさせていくというようなこともあっていいのではと思う。中学生高校生のセンスにはかなわないところもあるので、そういった工夫もやってみてはどうかと思っているところ。</p> <p>議事については終了。会の進行を事務局に返す。</p>
事務局	<p>今日いただいたご意見を参考にしながら、更に男女共同参画社会が進むよう取り組んでいきたい。</p> <p>長時間にわたりありがとうございました。</p>